

“四国のまほろば”を目指して 牧田市長と矢田清巳監督が対談



美馬市の魅力について語り合う牧田市長と矢田監督④

昨年5月30日から3日間、美馬市脇町とつるぎ町でテレビの人気時代劇『水戸黄門』の撮影が行われたことは、私たちの記憶にも新しいところ。『水戸黄門』を手掛ける矢田清巳監督とは、旧脇町時代から芝居公演などを通じて交流を続けています。

先ごろ、脇町劇場を拠点に活動する児童劇団「うだつげきだん寺子屋」の演技指導のため美馬市を訪れた矢田監督が牧田市長と対談。同劇場で「美馬市の魅力を観光行政にどう活かすか」というテーマで、郷土発展への熱い思いを語りました。

●水戸黄門のロケ地となった美馬市

監督 うだつの町並み周辺には、江戸時代の文化があつて、その景観が素朴に残されている。町並み保存と、そこに住む人たちのパワーに魅力を感じ、ロケ地を選んだ。

市長 イベントや事業の開催には、主催する側が情熱を持って取り組むことが、人の心を動かし、組織を動かす。うだつの町並みは、実生活のある生きた民俗資料館だと思っている。その魅力を監督に見ていただいで大変うれしく思っている。

●今年5回目を迎える脇町劇場での芝居公演

監督 うだつの町並みにはボラ

ンティアガイドの皆さんをはじめ、地元の歴史を知り、この場所での生活を愛している人が多く、人と地域がもつ温かさを感じる。町並みと合わせ、脇町劇場にも木と人のぬくもりがあり、旧脇町時代の初公演から今後も芝居を続けていきたいと思うようになった。



昨年、うだつの町並みで行われた『水戸黄門』のロケ

市長

これからのまちづくりでは、私は美馬市が“四国のまほろば”となるよう取り組んでいきたい。今秋開催する芝居公演は、まほろば公演として大いに盛り上げたい。

●“四国のまほろば”を目指して

市長 “まほろば”に行き着くためには、教育や基盤整備、福祉など、さまざまな角度から基本的な考え方を示し、「住みよい、心の優しいまちづくり」を進めることが重要。うだつの町並みや寺町、穴吹川、中尾山高原などの自然や観光文化資源を活かしながら、新しいものが生まれる地域にしたいと考えている。今後は美馬市の魅力発信の手段として、国際交流の推進、観光旅行の周遊ルートにおける観光拠点としての定着、インターネット等を利用したネットワークの構築を図っていきたい。

監督

美馬市を“まほろば”にしていくためには、地域の活性化が絶対に必要。それは、全国の人にまちの素晴らしさを知ってもらい、訪れてもらうというところ。美馬市に住む人々が「幸せ」「楽しい」と感じていることを全国に発信できれば良いと思う。

「第1回うだつ黄門まつり」開催の案内

うだつの町並みが江戸時代にタイムスリップ

昨年5月のテレビ「水戸黄門」ロケを記念したイベント『うだつ黄門まつり』が、下記の内容で開かれます。市民参加型のイベントで、矢田清巳監督が来場するほか、東映太秦映画村の俳優の皆さんによるチャンバラなどのパフォーマンスも披露されます。皆さん、ぜひ遊びに来てください。

催し物：太鼓演奏、阿波踊り、ストリートパフォーマンス

- とき 平成18年7月2日(日) 午後1時からオープニングセレモニー
催し物は、①午後1時20分 ②午後3時 ③午後4時30分からの3回公演
- ところ うだつの町並み通り(脇町) ※当日雨天の場合は、脇町劇場
- 問い合わせ先 市観光文化室 ☎(0883)8599